

令和5年度児童家庭支援センターリボン事業報告書

〔事業目的〕

地域の児童福祉に関する問題につき、児童に関する家庭からの相談のうち専門的な知識及び技術を要するものに必要な助言を行うとともに、市町村の求めに応じ技術的助言その他必要な援助を行うほか、保護を要する児童又はその保護者に対する指導を行い、あわせてこども家庭センター・児童福祉施設等と連絡調整等を総合的に行い、地域の児童・家庭の福祉向上を図る。

〔事業実績〕

1 相談に応ずる事業

(1) 相談件数

【月別個別相談延件数】

※指導委託ケース対応件数は除く。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	21	32	22	33	28	17	29	9	43	28	29	13	304
来所相談	1	3	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	9
訪問相談	23	37	107	36	106	34	62	78	58	31	99	67	738
心理療法等	10	8	8	3	11	13	15	8	3	6	7	11	103
メール相談	18	26	20	11	15	60	0	15	41	56	5	5	272
手紙相談	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延件数	73	106	157	83	160	124	108	110	146	123	141	97	1428

【こども家庭センターからの指導委託ケース対応件数】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8	19	13	11	24	31	14	17	13	24	47	60	281

年間相談延べ件数：1,709件

(個別相談件数 1,428件、指導委託ケース対応件数：281件)

(2) 実施内容

- ① 相談者に対して、親子のコミュニケーションや、望ましいしつけに関して、具体的な方法を伝える等の支援を行った。
- ② 相談に応じる中で、子どもの特性に応じた関わり方を知るために発達検査・知能検査を行い、保護者や担当者、担任教師などに関わり方を助言した。
- ③ コモンセンスペアレンティング・トレーニングを用い、親が子どもの問題行動に教育的に対処できるしつけのスキルを身につけられるよう促し、良好な親子関係の構築と虐待予防を図った。

2 市町村の求めに応ずる事業

- (1) 朝来市5歳児発達相談事業へ心理士を派遣し、対象児童の発達に関する相談に応じ、発達検査を実施した。回数：8回 対象者数：6名

- (2) 朝来市内の子育て学習センター4ヶ所(朝来、生野、山東、和田山)に毎月訪問し、保護者の子育て・発達に関する相談を受け、各センター担当者とケースを共有した。

訪問回数：46回 相談延数：81件

また、各子育て学習センターからの要望に応じて、子育てスキルアップ講座(CPA講座や座談会)を開催した。

8/25：山東子育て学習センター 9/8：生野子育て学習センター
9/13：和田山子育て学習センター 11/28：朝来子育て学習センター

3 こども家庭センターからの指導委託による指導

- (1) 指導委託数 4件(5人)
受託管轄センター：豊岡・中央・川西こども家庭センター(丹波分室)
- (2) 指導委託対応年間延べ件数 281件
- (3) 実施内容
- ① 定期的な訪問、通所、電話・メール相談、手紙による助言、指導を行った。
 - ② こども家庭センターへ毎月指導状況報告書により、状況を報告した。
 - ③ こども家庭センターから助言、指導を受けながらケースの支援を行った。
 - ④ こども家庭センターや市の福祉課、関係機関等と個別ケース会議・家庭復帰評価委員会・カンファレンスに出席し、ケースについての支援方法について検討した。

4 里親支援

- (1) 里親からの相談に応じ、里親の悩みや不安に対する助言、養育に関する助言などの支援を行った。
- (2) 里親サロンを本体施設と協同で開催し、自立支援をテーマとした相談会を行った。
- (3) 朝来市内の子育て学習センターにおいて、地域の子育て中の保護者に対し、里親制度について説明とチラシの配布を行った。
- (4) 養育里親認定前研修・養育里親更新研修における里親施設実習の中で、児童家庭支援センターリボンの事業と里親支援について説明し、利用を促した。
- (5) ホームページにて、里親制度についての啓発を行った。
- (6) 全国里親大会にスタッフとして参加し、里親子との交流を図った。
- (7) 里親支援センター開設にむけて、啓発チラシ作成等の準備を行った。

5 関係機関との連携、連絡調整

- (1) こども家庭センターとのケース会議をもち、こども家庭センターからの指導委託ケースや要対協ケースについて情報を共有し、支援方針の確認等を行った。
- (2) 一時保護、ショートステイの受け入れ窓口としての役割を担った。
- (3) 各市福祉課、健康課、教育委員会(学校・保育園)等と、連携ケースに関わる情報交換を行い、各々の役割を確認し支援を行った。

- (4) 朝来市、養父市、丹波市、丹波篠山市、豊岡市、香美町、新温泉町の要保護児童対策地域協議会へ参加し、地域の現状を把握すると共に各々の役割を確認した。また、連携ケースの情報を交換し、役割分担と連携の必要性を認識した。

6 地域支援事業・子育て支援事業

- (1) まちの子育てひろば「リボン・ほっとサロン」を開催し、地域の子育て中の母親からの子育て・発達に関する相談を受けた。

※今年度も新型コロナウイルス感染予防の為、集団活動は中止とし、個別での来所を実施した。

- (2) まちの子育てひろば事業にアドバイザーとして職員を派遣した。

事業所	日時	組数	内容
養父市子育て支援センターたいよう	5/19	6	子育てスキルアップ講座（CPA講座）
香美町高井子育て・子育て支援センター	7/6	9	子育てスキルアップ講座（CPA講座）
香美町香住子育て・子育て支援センター	2/22	6	子育てスキルアップ講座（CPA講座）
照福こども園おやこる一む	3/13	6	座談会
新温泉町温泉子育て支援センター	11/24	7	子育てスキルアップ講座（CPA講座）
合計	5ヶ所	34組	

7 運営管理

- (1) 職員数

	センター長	副センター長	相談支援員	心理士	計
年度始	1	1	3	1	6
年度末	1	1	3	1	6

- (2) 健康診断等

定期健康診断 10月24日、11月24日：4人